

生涯学習プラザ1階 ウェルカム・ギャラリー

気軽に絵画鑑賞を!

2022(令和4)年1月、生涯学習プラザ1階ロビーの一角に「ウェルカム・ギャラリー」が誕生しました。小さな展示コーナーですが、近くでじっくり作品を鑑賞できます。いろいろな作品を楽しめるように展示替えも行っていきます。

4月1日現在の展示は、麻生区の画家・さとう菊夫さんが描いた作品です。

第二のふるさと川崎を描き続けた さとう菊夫さん

さとうさんは1942(昭和17)年に福島県浪江町で誕生し、就職を機に上京、その後、川崎市内に居を移しました。30代半ばで訪れたルーブル美術館などで見た写実的な絵画に影響を受けて、「自由絵画」と名付けた写実的な作風を築き上げました。

馬が大好きで、馬の絵をよく描いていたさとうさん。芳江夫人が、「日本中で絵を描いてきましたが、どこに行っても馬の置物とか馬に関する物ばかりを買ってくるのですよ」と笑いながら語ってくれました。

川崎は、かつて公害都市とよばれ、暗いイメージの街として見られがちでした。しかし、川崎には生まれ故郷の浪江町のような美しい風景もある…。さとうさんは、第二のふるさととして大切にしている川崎のイメージアップに少しでも役立つならばと考えて、茅葺き屋根の民家や田園風景などの豊かな自然を描き続けるようになったそうです。

さとう菊夫さんの画文集『川崎百景』収載の作品は、20回に渡って本誌「Stage Up」の表紙を飾っています。さとうさんと当財団の長いあいだのご縁から、川崎の風景を描いた貴重な絵画をはじめ、絵葉書、図書をご寄贈いただきました。多くの皆さまに広く鑑賞していただけるように、プラザ1階ロビーのウェルカム・ギャラリーに展示するだけでなく、川崎市大山街道ふるさと館で企画展を開催します。当財団のホームページでも、<川崎百景>さとう菊夫シリーズが表紙を飾る本誌過去号をまとめてご覧になれますので、ぜひご利用ください。

〔この企画を準備中の2022(令和4)年1月28日早朝、さとう菊夫さんが永眠されました。〕



画文集「川崎百景より」



麻生区 早野の民家
「Stage Up」209号
表紙掲載



多摩区 ニヶ領用水
「Stage Up」233号
表紙掲載



川崎区 川崎駅前広場
「Stage Up」234号
表紙掲載



宮前区 菅生秋景
「Stage Up」235号
表紙掲載

川崎市大山街道ふるさと館 令和4年度 第1回企画展 「さとう菊夫作品展 ～心に残る川崎の風景～」

期 間:4月29日(金・祝)～6月8日(水)
時 間:午前10時から午後5時
場 所:大山街道ふるさと館 1階 展示室

JR武蔵溝ノ口駅から徒歩7分
東急高津駅から徒歩5分
電話 044-813-4705

観覧料:無料
企画展情報の詳細は
大山街道ふるさと館の
ホームページから ⇨



⇨Stage Upを飾った
<川崎百景>
「さとう菊夫」シリーズ



⇨ 生涯学習財団
ホームページ

■ (公財)川崎市生涯学習財団 企画広報担当
〒211-0064 中原区今井南町28-41
電話:044-733-5811